

所信表明

9月13日、令和元年第3回立川市議会定例会の冒頭あいさつに臨んだ清水市長は、今後の市政運営についての所信を表明しました。その概要をお伝えします。なお、全文は市ホームページでご覧になれます。

地域で見守り、支えあい、すべての人がいきいきと暮らせるまちを目指して



立川市長
清水庄平

私は、平成19年9月に立川市長にお選びいただき、以来12年間、議会や市民の皆さんに支えられ、全力で立川の発展に取り組んでまいりました。

また、新しい任期となりますこの4年間は、本市におきましても少子・高齢化、人口減少社会を見据えた極めて重要な時期と考えており、今までに例のない、かじ取りの難しい時代を迎える中で、4期目のスタートにあたり、立川の発展と充実をめざし、市民が安全・安心に、すこやかに暮らせるまち立川を確立するため、全身全霊を込めて職務にあたりたいと決意しております。

4期目にあたりましては、引き続き第4次長期総合

計画に示したまちづくりの将来像、「にぎわいとやすらぎの交流都市 立川」の実現に向けて取り組むとともに、中・長期的視点に立った市政運営をすることが、市長として最も重要な責務であると考えております。

人口構造の変化や厳しい財政状況等、行財政運営の大きな転換期を迎える中で、戦略的に施策を展開するため、令和2年度からスタートする第4次長期総合計画・後期基本計画の策定に取り組み、交流都市として立川に大勢の方々が集うことによって、産業を隆盛させ、まちの魅力を高め、それが市の経営の安定につながっていく、その中で行財政改革もしっかりと進める、このような市政運営を行っていきいたいと思っております。

5つの政策の柱

子ども・学び・文化



- 配慮を必要とする子どもや家庭への支援の充実と教育環境の整備
- 子育て・子育ての拠点づくりとして、子育てひろばの充実
- 民営化した保育園の建て替えによる定員拡大
- 学童保育所の受け入れ拡大などによる子どもの安全・安心な居場所の確保
- 小学校単独調理校(8校)および、中学校(9校)に提供する新学校給食共同調理場の早期建設
- 特別教室・体育館への空調機の整備
- ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

環境・安全



- 新清掃工場整備運営事業の着実な推進

- 自治会等との連携による、安全・安心な地域社会の実現
- 特殊詐欺被害の防止
- 立川駅周辺の安全・安心の取り組み
- 水と緑の保全、都市農地の保全、農業経営の安定化と立川農業の魅力発信

都市基盤・産業



- JR南武線の鉄道立体化、JR中央線の複々線化、多摩都市モノレールの延伸の事業化、都市計画道路の早期整備を要請
- 流域編入とともに、多摩川上流処理区の雨水対策を推進
- 積極的なシティプロモーションの推進
- MICEの取り組みを支援
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会におけるにぎわいの創出
- 市庁舎北側地域の土地利用の実現に向けた取り組み
- 西武拝島線各駅周辺における、人々の活動や交流を図る拠点等の形成に向けた取り組み
- 立川駅周辺の「立川駅前歩道立体化計画」の検証

福祉・保健



- 地域で見守り、支えあい、すべての人がいきいきと暮らせるまちを目指して、地域のネットワークづくりのさらなる推進
- 生きがいと社会参加の推進、介護予防と認知症対策の推進と生活支援
- レスパイト事業の充実とサービス基盤の総合的拡充
- 小学生インフルエンザ予防接種の助成
- 途切れのない安心した子育てを支える拠点として、子ども未来センターに子育て機能を集約

行政経営・コミュニティ



- 経営資源を適正かつ効果的に活用するとともに、官民連携を進め、持続可能な自治体経営を推進